



Vol.  
01  
2023.12

# 南口参道街環だより

令和5年 12月



宝山寺から生駒駅南口までの参道で、「街なみ環境整備事業」をスタートします。

令和5年度から、地域固有の景観を守り育てるための事業である、「街なみ環境整備事業」を実施しています。

事業のキックオフのため、11月23日(祝)に、まちあるきイベントを実施しました。

事業の目的やイメージをご案内し、また参道エリアに関心のある皆さんから、どのようなエリアの景観になっていけばいいのか、ご意見やアイデアを出していただきました。

キックオフイベントの様子

## コラム

### 街なみ環境整備事業とは

地域独自のたたずまいを今に残す地区などにおいて、建物外観や公共施設等をよりよく整えるための整備を行うことで、地区の歴史的な街なみを保全し、さらに魅力に磨きをかけるための事業です。

沿道の住宅や店舗などが行う、外観をよりよくするための工事や、市が道路や公園といった公共施設をより美しくする際に、その費用の一部を国が負担する支援があります。

生駒市の中心部である生駒駅南口から宝山寺までの参道ルートが、一層魅力的な街なみになるように、地域のみなさんとともに事業に取り組んでいきます。令和5年度から7年度までの3カ年で、計画を策定する予定です。



宝山寺門前

「参道らしい空間の魅力を探る まちあるき」イベント 11月23日(祝) 13:30~16:30  
(プログラム)

- ①ミニ講演
- ②まちあるき
- ③ワークショップ ~まちあるきで撮影した写真を使って、発見したことを共有しました~
- ④武田先生よりコメント

## ミニ講演

### 「身近な空間の魅力(ミーニング)の見つけ方」

大阪公立大学 緑地計画学研究室 武田重昭准教授



ミニ講演の様子

『都市空間が、その場所「らしい」ってなんだろう?』という問いから始まりました。大切なのは「私たちの 心の中 にある風景」であり、私たち一人ひとりが風景の「ミーニング(意味)」を見つけることで、風景が特別な意味をもつようになります。

そういう観点から、『「ミーニング(意味)」の見つけ方』について、手掛かりを教えていただきました。例えば、「そこにある(かもしれない)物語」や「グッとくる」風景など、日常生活の中でも風景を楽しむ切り口になるようなものばかり。

たくさんのヒントを携えて、まちあるきに出発しました!

## グループ A

### 見晴らしの秘密/宝山寺参道独特の雰囲気

まちあるきで撮影したのは、きれいな紅葉などのグッとくる写真。

参道の脇道から見える絶景の写真は、参道が「尾根」の上をたどっているからこそ。その発見に驚きが広がりました。

「観光生駒ゲート」は独特の雰囲気を醸しているという意見がありました。

#### 【見晴らし】

- ・尾根の上をたどる参道→見ごたえのある見晴らし
- ・見晴らしのいい公園



#### 【昔ながらの】

- ・古い旅館一生駒新地が変化してきた物語
- ・昔からのにぎわいを感じさせる「観光生駒ゲート」
- ・「千と千尋の神隠し」みたい(ネオンの明かり)



#### 【参道らしさ】

- ・石の道標
- ・参道の入り口のしるし
- ・灯籠が宝山寺らしい
- ・高い木が目印になる



#### 【生駒らしさ】

- ・参道の途中に家や暮らしがあるのは生駒らしいかも
- ・「参道だけどいろいろある」感じ



#### 【緑が目映る】

- ・どの写真にも緑が映り込んでいる
- ・秋の感じ/見上げる紅葉
- ・気持ちの良い秋晴れ



※写真は、参加者がまちあるきで撮影したものです

## グループ B

### 宝山寺の参道としてのまちなみ

宝山寺から駅前に下りてくるにつれ、まちなみは変わっていきます。「駅前に住んでいたが、こんな空間があるとは知らなかった」という声もあがりました。

宝山寺の参道として発展してきたこの地域では、参道としての一体感を残していきたいという意見がありました。

#### 【見晴らし】

- ・路地の隙間から見えるまちなみ
- ・遠くに見える矢田丘陵
- ・揃っているスカイライン



#### 【にぎわい】

- ・宝山寺駅前が寂しい
- ・参道としてのかつてのにぎわいを感じる看板



#### 【参道らしさ】

- ・宝山寺の参道として、駅前から整備したい
- ・バーチャル鳥居
- ・電柱が残念
- ・よく見ると道標



#### 【生活感】

- ・路地奥の生活感
- ・看板が人間臭い



#### 【緑が目映る】

- ・遠くの山並みと生垣、街路樹



## グループ C

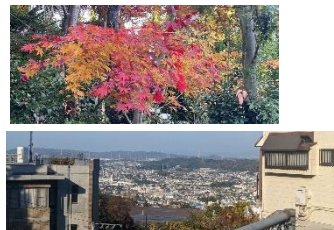
### 過去から現在 さらに未来へ～時間がゆっくり流れる場

紅葉の季節ということもあり、「季節感が感じられる」「生駒市内で見晴らしのよい場所」ということが再認識でき、共有できましたが、休憩できる場所がない、人通りが少ないなどの意見もありました。

長い参道を歩いていくうちに、宝山寺のもつ歴史の中で、古さと新しさが絶妙にバランスよく共存していて、「時間がゆっくり流れる場」であることが感じられるなどの意見が多かったです。

#### 【眺望・見晴らし・季節感】

- ・眺望がよい
- ・参道の秋景色～季節感を感ずる



#### 【歴史・古さ・レトロ】

- ・昔の歴史を感じる
- ・古い旅館や公設市場などレトロな雰囲気がよい
- ・最近少なくなった郵便ポストが懐かしい



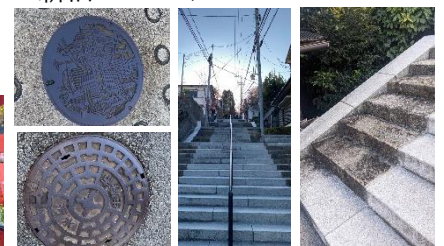
#### 【休憩・にぎわい】

- ・休憩する場所が少ない
- ・にぎわいが少ない
- ・赤い鳥居で人が集まる



#### 【新旧の共存】

- ・新旧の参道
- ・新旧のマンホール



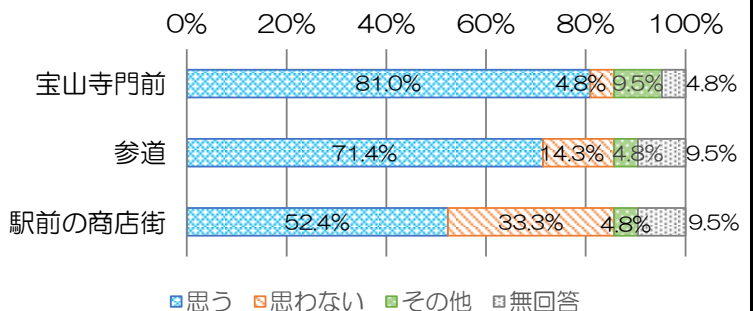
※写真は、参加者がまちあるきで撮影したものです

まちあるきに参加した方にアンケートをしていただきました。

ここでは、その結果の一部をご紹介します。

**問 あなたにとって各エリアは魅力的な場所でしたか？**

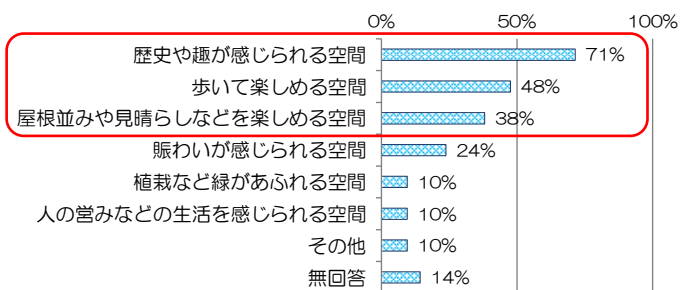
「宝山寺門前」エリアを魅力的だと思う人は、81.0%。「参道」エリアを魅力的だと思う人は、71.4%。「駅前の商店街」エリアを魅力的だと思う人は、52.4%という結果になりました。



**問 どのような空間になればよいと考えますか？（複数回答）**

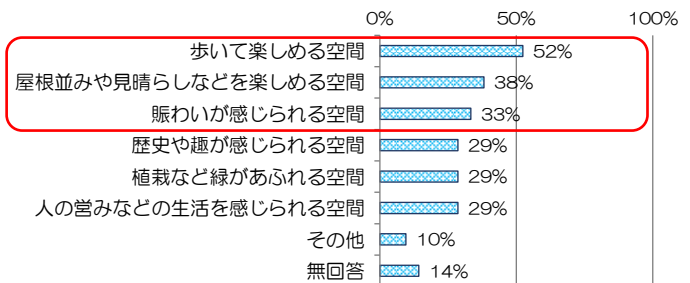
【宝山寺門前】

「歴史や趣が感じられる空間」と回答した方が71%と最も多く、「歩いて楽しめる空間」（48%）、「屋根並みや見晴らしなどを楽しめる空間」（38%）と続いています。



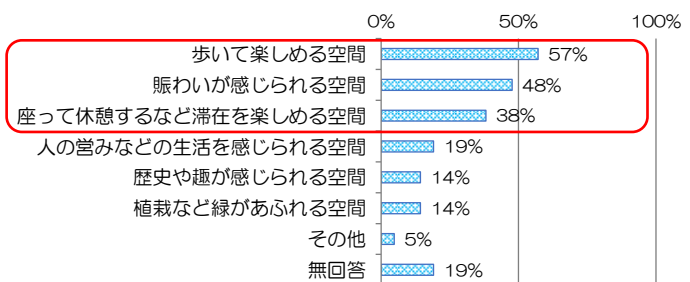
【参道】

「歩いて楽しめる空間」と回答した方が52%と最も多くなっています。「屋根並みや見晴らしなどを楽しめる空間」（38%）、「賑わいが感じられる空間」（33%）と続いています。



【駅前の商店街】

「歩いて楽しめる空間」と回答した方が57%と最も多くなっています。「賑わいが感じられる空間」（48%）、「座って休憩するなど滞在を楽しめる空間」（38%）と続いています。



**問 魅力的だと感じた要素は何ですか？（複数回答）**

【宝山寺門前】

- ・生駒のまちへの見晴らし（86%）
- ・古くからの建物（76%）
- ・まちなみの雰囲気（67%）
- ・石畳などの舗装（67%）

【参道】

- ・石畳などの舗装（52%）
- ・まちなみの雰囲気（48%）
- ・建物敷地内の植栽（43%）
- ・街路樹（38%）

【駅前の商店街】

- ・店舗などのにぎわい（24%）
- ・まちなみの雰囲気（19%）
- ・古くからの建物（14%）
- ・お店の看板（14%）